

# 遠賀川の植物

遠賀川水系では現在ヨシやオオタチヤナギなど135科937種の植物が確認されています。おもな植物について、分布を示しています。



凡 例	
保 存	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種
国 R L	「環境省報道発表資料 鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省、平成18年)の掲載種
	「環境省報道発表資料 哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物および植物IIのレッドリストの見直しについて」(環境省、平成19年)の掲載種
県 R D B	「福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック2001-」(福岡県、平成13年)の掲載種
国 R L・県 R D B の 絶滅危惧種カテゴリー	
危 惧	絶滅危惧 (CR+EN+VU)
危 惧 I	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)
危 惧 IA	絶滅危惧 IA 類 (CR)
危 惧 IB	絶滅危惧 IB 類 (EN)
危 惧 II	絶滅危惧 II 類 (VU)
準 危 惧	準絶滅危惧 (NT)
D D	情報不足 (DD)
個 体 群	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)

**アラカシ(ブナ科)**  
山に近い河岸に見られる常緑樹。大きなものでは10mをこえます。秋になると、たくさんのどんぐりをつけている姿が見られます。

貴重な植物	貴重な植物	貴重な植物
		
アサザ(ミツガシワ科) 国RL:準危惧、県RDB:危惧 I A	オオミクリ(ミクリ科) 国RL:危惧 II	ミソコウシュ(シソ科) 国RL:準危惧
池や川の水中に生える多年草。葉は水面に浮かび、6~8月には黄色の花が見られます。遠賀川の一部で確認されています。	浅い水底から直立して生える多年草。果実がクワの実に似ているので、この名前がつけました。黒川の一部で確認されています。	湿った高水敷や河原に生える越年草。5~6月に淡紫色の花をつけます。遠賀川水系のいたるところで確認されています。

**ネズミギ(イネ科)**  
採草地に植えられている一年草で、馬や牛の牧草になります。最近では野生化して、5~6月ごろ遠賀川流域のいたるところで見られます。

**オオタチヤナギ(ヤナギ科)**  
河岸に良く見られる落葉樹。大きなもので15m位になります。遠賀川流域でも中流~下流にかけて良く見られます。




**ヨシ(イネ科)**  
河岸や砂州に生える大型の多年草。昔はアシと呼ばれていましたが、「悪し」に通じるため、ヨシ(よし)に名前が変更されました。

**ヒシ(ヒシ科)**  
池や河のよどみなどに生育する一年生の浮葉植物。やや水の汚い所に生え、7~9月に白い花をつけます。実はゆでると食べられます。

**オオフサモ(アリノトウグサ科)**  
ブラジル原産の水草で、6月ごろ白い花が見られます。普通冬には葉が落ちますが、九州は暖かいために、冬でも葉がついています。

**セイバンモロコシ(イネ科)**  
地中海原産の多年草。高さ1~2mになり、若い葉には毒があります。牧草として利用されていましたが、近年では野生化しています。

**ツルヨシ(イネ科)**  
ヨシとよく似ていますが、地面の上につきるを伸ばして広がっていきます。遠賀川では主に上流部の石の多い河原や砂州で良く見られます。

貴重な植物	貴重な植物	貴重な植物
		
タコノアシ(ユキノシタ科) 国RL:準危惧、県RDB:危惧 II	イヌゴマ(シソ科) 県RDB:危惧 I A	シラン(ラン科) 国RL:準危惧、県RDB:準危惧
花のつきかたがタコの足に似ていることからこの名前がつけました。遠賀川と彦山川の河原や湿地で見られます。	湿地に生え、細長い地下茎をひく多年草。夏に淡紅色の花をつけます。遠賀川の一部で見られます。	日当たりのよい湿地に生える多年草。春に紅紫色の花をつけます。遠賀川の一部で見られます。

